

支援プログラム

作成年月日： 2024年10月1日

事業所名		児童発達支援センターらいむの丘		
事業所の所在地		三重県桑名市星川 2 2 3 9 番地 1		
法人（事業所）理念		「待ちをつくらない」の考え方で、努力を惜しまない。また、「出来ません」ではなく、「出来るようにする」には どうするかを考えます。		
支援方針		お子さんの育ちを支援しながら、保護者様に寄り添い、発達の気になるお子さんと保護者様、ご家族が「地域で生き生きと暮らしていける」よう児童発達支援センターの機能を最大限に活用し、育ちをサポートする療育に取り組み、楽しく・安心・安全に過ごせる場所を提供します。		
営業時間		8：40～17：00 （センターが指定する休業日・土曜日・日曜日 祝祭日・年末年始除く）	送迎実施の有無	なし
		支援内容		
本人支援	健康・生活	・ 一日のスケジュールの流れに沿って、準備や片付けが行えるよう一人一人に合わせて、環境を整え、取り組みやすいようにします。 ・ 声掛けだけでなく、スケジュールやあそびを写真等の絵カードにして提示し、わかりやすいようにします。		
	運動・感覚	・ 感覚統合の視点を取り入れた身体を動かすあそび（サーキットや揺れあそび等）、五感を育むことを中心とした感覚・感触あそび（豆あそび、スライム粘土あそび等）を行うことで、基本的な身体の動かし方、力加減やバランスの取り方を促します。		
	認知・行動	・ 大人があそびの見本を見せることやあそびに誘いかける声掛けをすることで、自分がどのようなことをするのか等の見通しが立ち、あそびを知ることやあそぶことに繋がります。 ・ 大人がそばで声掛けすることや参加するタイミングを合わせて一緒にあそぶことで、簡単なルールを身につけていけるよう促します。		
	言語 コミュニケーション	・ 伝えたいことを表せるように、お子さんの表現の仕方を把握し、相手に伝わる伝え方（しぐさ、絵カード等）を一緒に考え、取り組んでいきます。 ・ お子さんの動作とことばが結びつくように、動作に簡単なことばを添えて伝えます。 ・ 相手への伝え方を、大人が見本を見せて、どういう伝え方が伝わりやすいかを一緒に行っていきます。		
	人間関係 社会性	・ あそびの中で、他者と一緒に行う経験を積み、できた時にハイタッチや拍手をすること等で、褒められる認められることを通して、相手を意識することに繋げていきます。		
家族支援		・ 保護者様の困りごとや悩み事については、話を伺い一緒に考えていきます。 ・ 療育の内容やご家庭での様子を観察・確認し、保護者様がお子さんのことをより理解できるように日々考え、必要に応じて懇談や情報提供を行います。 ・ 親子行事や保護者様研修会を開催しています。		
移行支援		・ 就園・就学に向けた関係機関との情報共有をします。 ・ 就園に向け、保育所（法人運営）との交流をします。		
地域支援・地域連携		・ お子さんが通う保育所や小学校等、医療・福祉等の関係機関との連携や情報共有をします。 ・ 各関係機関との会議に参加します。		
職員の質の向上		○人権研修…月 1 回 ○職員研修…年 2 回 ○虐待防止研修…年 1 回 ○ケース検討会…年 4 回 ○関係する外部研修会の参加		
外部		○隣接市町への言語相談・講座・巡回相談 ○介護予防事業の実施 ○施設訪問支援（依頼を受けた市内外保育所や小学校等へ出向き、困りのあるお子さんの接し方等の職員の支援を実施）		
研修会の実施		○教員向け研修会…年 2 回 ○保護者研修会…年 3 回 ○保育士研修会…年 3 回 ○放課後等デイサービス・児童発達支援事業所向け研修会…年 3 回 ○私立保育園連盟研修会…年 4 回		
主な行事等		○園外療育：年 2 回（春・秋） ○交流保育：同敷地内にある保育所（法人運営）へ行き、就園に向けて集団の中で過ごす経験していきます。 ○季節の活動：こいのぼり制作、七夕飾りの制作、水遊び・プール、クリスマス会等 ○避難訓練…月 1 回（火事や地震等を想定）		